直葬後の納骨で気をつけたいポイント

最近では通夜や告別式を行わない直葬を選ぶ方が増えていますが、直葬は火葬後の納骨の際にたびたびトラブルが発生しています。こちらでは直葬後の納骨で気をつけるべきポイントをご紹介いたします。

納骨の際に起こりうるトラブルの対策をとっておく

直葬の場合、葬儀を行わず火葬後すぐに納骨という形になるため、通夜や告別式もありません。そのためお坊さんによるお経や戒名がなく、これがトラブルの原因となる場合があります。納骨の際に「お経で供養をされていない、戒名がない」という理由で納骨を断られるケースも見受けられます。直葬を行う場合の多くは故人の遺志によるものですので、直葬でも納骨ができるように、起こりうるトラブルの対策をとっておきましょう。

納骨する場所を決めておく

上記のようなトラブルを防ぐために、火葬後に納骨をする場所を決めておくようにしましょう。そうすれば、火葬後に納骨を受け入れてくれる場所を慌てて探すということがなくなります。

先祖代々のお墓があるお寺（菩提寺）がある場合は、戒名やお布施の問題も関わるため、事前に直葬後の納骨が可能かどうかの確認をとっておきましょう。

お寺にもよりますが、戒名をつけてもらい四十九日法要で本葬を行うという形にすれば、納骨させてもらえる場合があります。

納骨先を探すときは

葬儀会社に納骨先となるお寺を紹介してもらう方法があります。納骨先がなかなか見つからないようであればこの方法がおすすめです。

費用はかかりますが、直葬から納骨までを円滑に行うことができるため、負担はかなり軽減されます。また、菩提寺への納骨が不要であり永代供養も可能であれば、火葬から納骨までを葬儀社に任せるというのもひとつの方法です。

千葉や東京の青戸でお墓に関することなら、当社にご相談ください。当社はお墓の移動・移設・改葬や葬儀の手続きに関して幅広くサポートしております。また、お墓参り代行サービスや墓石の修理、クリーニングのご依頼にも対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 清心　千葉県松戸市馬橋1790　Copyright © 清心 All Rights Reserved.